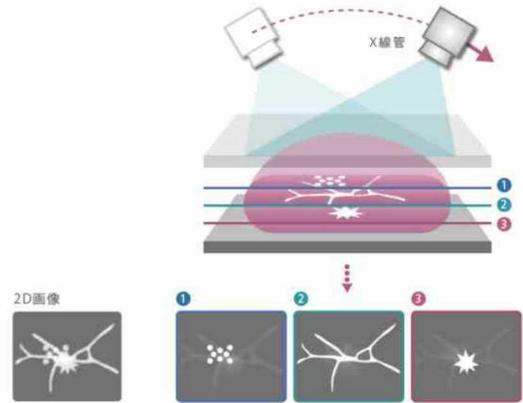


マンモグラフィ『トモシンセシス』撮影について

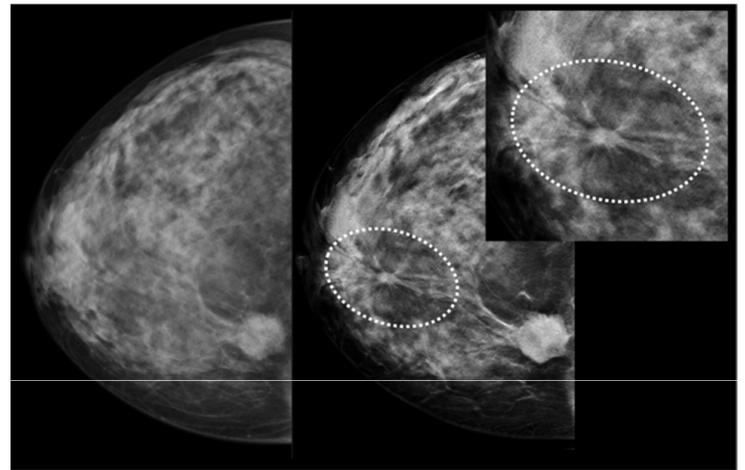
○トモシンセシス撮影とは・・・

通常の3D画像ではなく、CTやMRIのような約1mm間隔のスライス画像が得られます。一度の圧迫で通常のマンモグラフィ(2D)とトモシンセシスを撮影することができるので、これまでと変わらない負担で多くの情報を得ることができます。



○トモシンセシスの有用性について

トモシンセシスでは、通常のマンモグラフィで隠れていた病変を高い確率で発見することができます。病変の位置や大きさ・形がよりわかり易くなり、質の高い診断を提供することができます。



通常画像

トモシンセシス画像

○通常マンモグラフィ検査との違い

項目	通常マンモグラフィ(2D)	トモシンセシス撮影(2D+3D)
撮影枚数(1回)	1ショット(1画像)	15ショット(15画像)
被ばく線量	1mGy以下	2mGy以下(2D+3D)
撮影時間(1回)	約3秒	約7秒(2D+3D)

トモシンセシス撮影の1ショットあたりの撮影線量は通常のマンモグラフィ撮影に比べはるかに低線量でおこなうため、複数枚撮影でも通常検査の2倍程度の被ばく線量に抑えられます。

(※2Dとトモシンセシス撮影を合わせても日本放射線技師会のガイドライン以下の被ばく線量です) トモシンセシス撮影時間についても通常撮影と大きな差はなく、安心して検査を受けていただくことができます。

●トモシンセシス撮影 オプション価格 会員価格:2,000円(税別)
一般価格:4,000円(税別)

(※乳がん検診の料金にプラスして上記の料金が掛かります)